

内妻長男の両足骨折る

大阪府警 傷害容疑 26歳男逮捕

内縁の妻の長男(3)に暴行を加え、両足骨折などの重傷を負わせたとして、大阪府警捜査1課と黒山署は11日、傷害容疑で、堺市東区北野田の無職、井本雅弘容疑者(26)を逮捕した。

「夕食のときに長男が『いただきます』と言わなかったので回しけりした」と容疑を認めている。

逮捕容疑は、昨年7月3日ごろ、自宅で内妻(27)の

当時2歳だった長男の両足を回しけりし、両足の太ももの骨を折る重傷を負わせたとしている。長男は堺市子ども相談所(児相)が一時的保護し、回復しているという。

事件は昨年7月6日、児相の職員が家庭訪問した際に発覚。井本容疑者と内妻は当初、「長男が階段から落ちて骨折して入院した」と説明していたが、けがの

状況と食い違うため、児相が府警に通報した。府警によると、長男と内

妻の長女(5)の姉弟は日常的な虐待を受けていたとみられ、平成21年7月には近所の住民が「夜中に子供の叫び声が聞こえる」と堺市に通報。児相は家庭訪問で姉弟の体にあざを確認、姉弟を保育所へ通わせ、一時保護した時期もあった。井本容疑者は「内妻が止めに入っただけで暴行を止め

たが、病院には絶対に連れて行くなと言った。回しけりした太ももが赤く腫れていた」と供述したという。井本容疑者は21年1月ごろ、携帯電話の無料ゲームサイトを通じて内妻と知り合い、昨年6月ごろから内妻の家に同居。事件当時は4人暮らしだった。

編集部注)

またもや、痛ましい虐待のニュースです。